

第九十回
帝國議會
貴族院

地方競馬法案特別委員會議事速記録第二號

付託議案
○地方競馬法案(案)

昭和二十一年九月十三日(金曜日)午前十時二十四分開會

○委員長(子爵西尾忠方君) 只今ヨリ地方競馬法案ノ委員會ヲ開會致シマス
○男爵徳川誠君 此ノ法ノ提案理由ト云フノマダ組織立ツテ伺ツテ居ナイノデスガ、改メテ詳シク伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大石倫治君) 今徳川男爵カラノ御質問ノ提案理由ノ點デゴザイマスガ、御承知ノ通り本案ハ議院提出ノモノデゴザイマスガ故ニ、政府トシテノ提案理由ヲ此處デ申上ゲルト云フ譯ニハ參リセヌノデアリマスガ、議院ノ提案理由ヲ此處デ申上ゲマシテ、其ノ提案理由ハ政府ト致シマシテモ、適當ノモノデアルト云フ考ヘ方ヲ申上ゲテ御參考ニシタイト存ジマスガ、地方競馬法提出ニ至リマスル程路ヲ、聊カ申上ゲテ御參考ニ致シタイト存ジマスガ、地方競馬ト申シマスルモノハ、御承知ノ通り餘程古キ以前カラ、農林省ノ省令ニ依ル地方競馬規則ニ依リマシテ、全國各地ニ開催セラレテ居ッタノデゴザイマス、其ノ開催箇所ハ少クトモ一縣一箇所、多クハ三箇所ニ相成ツテ居リマシテ、全國ヲ通ジテ百二十幾箇所ニナツテ居ッタノデアリマス、其ノ後日華事變ニナリマシテカラ、軍馬資源保護法ト云フ法律ガ、總動員法ト關聯シテ出マシテ、此ノ法律ノ中ニ軍馬ヲ、或ハ軍馬候補馬ヲ鍛鍊スル手段ト致シマシ

テ、普通鍛鍊、鍛鍊競技、鍛鍊競走ノ三種類ガ行ハレタノデアリマス、其ノ鍛鍊競走ト申スノガ、從來地方競馬規則ニ依ツテ行ハレテ居リマシタ、地方競馬ヲ接收致シテ、ソレト同時ニ地方競馬ガ廢止セラレテ、鍛鍊競走トシテ、軍馬資源保護法ノ下ニ行ハレテ居リマシタノデアリマス、ソレガ昨年總動員法ノ廢止ニ伴ヒマシテ、此ノ法律モ廢止セラレタノデアリマシテ、爾來地方競馬ニ關シマシテハ、何等ノ法的根據ガナクナツテシマツテ居ルノガ、現在デゴザイマス、然ルニ其ノ地方競馬ヲ開催セラレマスルノハ、現在ニ於テハ、開催地方ノ知事ノ認可ト云フ形ニナツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル取締法モ制定シテゴザリマセヌシ、又法律或ハ規則ニ依ツテ行ハレマスルバ、之ニ國ガ課税ヲスル、或ハ地方稅ヲ賦課スル、或ハ中央團體ニ對スル納付金ト云フヤウナモノニ依ツテ馬事ノ振興改良ヲ圖ルト云フヤウナ費用ノ捻出モ出來ルノデゴザイマスガ、現在ニ於テハ左様ナ根據ガゴザイマセヌカラ、殆ド自由放任ノ状態ニ置カレテ、今地方競馬法ニ制定セムトスル馬券ノ賣買、配當ガ之ト同様ノ手段ニ依ツテ行ハレテ居ルノデゴザイマス、斯様ナコトガ日ニ月ニ多キヲ加ヘテ參リマシテ、政府トシテ之ヲ禁止シ或ハ停止スルコトハ出來得ルノデゴザイマスケレドモ、只今申上ゲマシタヤウナ事情ノ下ニ起ツタノデアリマスルカラ、之ヲ禁止スルト云フコトハナカク、困難ノ事情ニゴザイマスコトヲ御了解願ヒタ

イト思ヒマス、斯様ニ致シマシテ政府ト致シテハ、此ノ地方競馬ヲヨリ合法的ノモノニサシテ行カネバナラナイ、社會秩序ノ上カラ申シマシテモ、又サウ云フ馬事經濟、馬事改良振興ノ建前カラ申シマシテモ、孰レニシテモ競馬ノ必要ヲ認ムルコトニ相成ツタノデゴザイマスケレドモ、政府ハ其ノ準備ヲ致シマセヌ前ニ、議院ヨリ提案スルコトニナツタノデゴザイマシテ、其ノ提案ノ大體ノ條項ヲ見マシテ、餘リ政府ノ意見ト異ツタ點ガゴザイマセヌノデ、ソレデ政府ノ意見ヲ保留致シマシテ……保留ト申シマセヌデ、衆議院ヲ通過致シタノデゴザイマス、ソレデ議院ニ於キマシテ提案シマスル理由トシテノ根據ハ、第一ハ馬産ノ振興ヲ圖ルト云フノデゴザイマス、ソレハ一日ノ委員會ニ於キマシテ、四條侯爵ノ御質問ニ對シテ一應説明ヲ申上ゲテ置キマシタヤウニ、我が國ニ於キマシテハ、日露戰爭ノ直後、明治天皇ノ深キ恩召シニ依リマシテ第一次馬政計畫ヲ定メマシテ、此ノ期間三十年、ソレガ日華事變ノ勃發後ニ於テ終リヲ致シマシタ、仍テ日本ノ馬ノ素質、能力等、非常ナ發達向上ヲ致シマシテ、馬産計畫ノ目的ヲ大部分達成スルコトガ出來タノデアリマスケレドモ、尙第二次馬政計畫ヲ繼續スル必要ヲ認メマシテ、日華事變中ニ於キマシテ、第二次馬政計畫ガ同ジク三十年間ヲ以テ樹立セラレマシテ、其ノ實行ニ入ツタノデゴザイマス、然ルニ日華事變ノ實際ノ作戰計畫、軍馬ノ利用方面ガ段々ト變リマシ

テ、從來斥候用トシテ非常ニ尊バレタル速力ハ乘馬ト致シテ現レテ居リマシタガ、是ガ飛行機ニ變ツタ結果、速力ヲ尊ブ騎兵馬ノ必要ガナイ、ソレデ寧ロソレニ代ルニ、非常ニ多數ノ駄馬、又輓現馬ガ要求セラレルコトニナリマシタノデ、軍ノ要求ヲ容レマシテ、第二次馬政計畫ハ殆ド根本的ニ改組セラレタノデゴザイマシテ、此ノ軍ノ要望ヲ中心トシテ日本ノ馬ノ生産、育成、訓練ガ行ハレテ居ッタノデアリマス、然ルニ其ノ後終戰トナリマシテ茲ニ軍馬ト云フモノノ必要ガ全然消滅ヲ致シタノデゴザイマスガ、併シナガラ日本トアルト云フバカリデハゴザイマセヌデ、日本ノ農業經營ノ上ニ於キマシテモ、食糧増産確保ノ點カラ申シマシテモ、馬ノ或數ヲ保有セネバナラヌ必要ハ認メザルヲ得ナイノデゴザイマス、即チ第二次馬政計畫ニ於キマシテモ、第一次馬政計畫ニ於キマシテモ、本國内ニ保有スル馬ヲ、農村ノ事情ニ照シ合セマシテ、飼養能力、生産能力ガ百五十萬頭ヲ適當ト致シテ居リマシタガ爲ニ、百五十萬頭ヲ標準トシテ居ッタノデアリマス、然ルニ日華事變中ニ於キマシテハ、馬産ノ獎勵ヲ一生懸命致シタガ爲ニ、生産頭數ガ著シク増加ヲ漸次ニ方減退ヲ致シマシテ、百五十萬頭ヲ保有スルコトハ不可能ニ陥ツタバカリデナク、年々此ノ消費部面ガ殖エ

ル傾向ヲ呈シテ參リマシタガ爲ニ、一段ト馬ノ不足ヲ告ゲマシテ、現在ニ於キマシテハ、正確ナル統計ハ能ク申上ゲ兼ネマスルケレドモ、大體百二十萬頭ヲ割ツテ居ルカトモ考ヘラレルノデアリマス、然ルニ一面、食糧増産ノ計畫カラ五箇年間二百六十五萬町歩ノ新タナル開墾地ヲ計畫實行中デゴザイマシテ、是等ニ對スルモノヲ合セマスレバ、現在ノ馬デハ少クトモ七十萬頭ノ不足ヲ告ゲテ居ル、斯ウ云フ状態デアリマシテ、此ノ軍馬ヲ必要トセザル後ニ於キマシテモ、農耕馬トシテ、又陸上輸送力ノ足りナイ補助機關トシテノ荷馬車其ノ他ノ輓曳馬ノ必要ト云フモノガ、漸次増加ノ傾向ヲ呈シテ居リマシテ、斯様ニ關係カラ政府ト致シマシテハ、馬ノ増産及ビ其ノ改良ヲ必要ト致シテ居ルノデアリマス、只今申シマシタ事ニ軍馬中心ノ生産指導ヲ致シ、ソレニ伴フ所ノ育成訓練ヲ致シテ居ッタノデアリマスガ、軍馬ガ必要ナイ今日ニ於キマシテハ、専ラ此ノ農耕用ノ産業馬ヲ目標トシテ生産、育成、訓練ヲ致サネバナラナイ、又一部ノ只今申シタ輓曳馬、俗ニ荷馬車ト申シマシテ宜シウゴザイマセウガ、輓曳馬ヲ作り供給致サナケレバナラナイ、斯様ニナリマスルガ爲ニ、馬政計畫ヲ建直サネバナラヌ時ニナツテ居リマスルガ、未ダ其ノ馬政計畫ノ計畫途上ニゴザイマシテ、之ヲ發表スルニハ至ツテ居リマセヌ、デアリマスルガ、ドウシテモ此ノ馬格、能力、色々ノ方面ニ於テ馬ノ生産方針、育成方針等ヲ改メバナラナイト云フ時期ニ遭遇致シテ居ルノデアリマス、然ルニ斯様ニ場合ニ立到リマシ

テモ、從來政府ハ馬産育成ニ對シテ相
當巨額ノ補助、助成金ヲ與ヘテ居ツタ
ノデゴザイマスルケレドモ、御承知ノ
通り、補助、助成ハ全部終戦後打切ラ
レルコトニナリマシテ、政府ト致シマ
シテハ、遺憾ナガラ助成金ヲ持タナ
イ、補助ヲ致スコトハ出来ナイト云フ
ヤウナ立場ニ立チ至ツタノデゴザイマ
ス、此ノ馬ノ生産、改良ノ上ニ、當業者ト
致シマシテ、又是等指導ノ團體ト致シ
マシテ、非常ニ困ツテ居ルト云フ實情
ニアルノデゴザイマス、モウ一ツ此ノ
提案理由ノ大キイモノハ、食糧ノ増産
確保ヲ致シマスルニハ、第一肥料ヲ
必要ト致スコトアリマス、今日肥料ノ
不足ハ御承知ノ通りデゴザイマシテ、
硫酸ヲ初メ所謂化學肥料ノ生産ニ全力
ヲ盡シテ居リマスルケレドモ、需要ノ
數分ノ一ニモ達シナイヤウナ生産不足
デゴザイマシテ、是ガ幾年カノ後ニ需
要量ヲ充シ得ルカハ容易ニ見透シ兼ネ
テ居ルト云フ實情デアリマス、仍テ此
ノ不足ナル肥料ハ、概ネ畜糞ノ堆肥
肥、之ニ俟ツコトガ必要デゴザイマシ
テ、堆肥肥ナク致シマシテハ、日本ノ
食糧ノ増産確保ハ絕對ニ不可能ト申
上ゲテモ差支ナイト思フノデゴザイマ
ス、ソレデ現在ニ於キマシテハ、馬ノ生
産致シマスル堆肥ハ、化學肥料ノ十
倍モ多ク生産致シテ居ルノデアリマ
ス、同ジ大動物デアリマスル牛ト馬ノ
堆肥ノ製造能力ヲ見マシテモ、馬ハ牛
ノ約二倍半乃至三倍近クノ多クノ堆肥
ノ生産ヲ致スノデアリマスルガ、又肥
料ノ效力ニ於キマシテモ、牛ト馬トデ
ハ非常ニ違ツテ居ルノデアリマス、牛
ハ御承知ノ通り、同ジ物ヲ食ベマシテ
モ反刍動物デゴザイマスカラ、從ツテ
肥料成分ト云フモノハ馬ヨリモ遙カニ

劣ツテ居ル、モウ一ツハ、馬ノ生産致
シマスル堆肥ト、牛ノ堆肥トト比
較致シテ見マスルト云フト、温度ニ於
キマシテモ數度違フノデゴザイマス、
氣温ノ低イ東北、北海道、北陸方面ニ
於キマシテハ、ドシウテモ牛ノ堆肥デ
ハ水田ニハ間ニ合ヒマセヌ、馬ノ堆肥
肥ヲ用ヒネバナラナイノデゴザイマ
ス、モウ一ツ、假令化學肥料ガ需要量
ニ滿チマシテ、堆肥肥ニ頼ラナクテモ
宜イト云フ時代ガ出来マスルナラバ、
其ノ時ハ農村疲弊ノ先ヅ第一歩デア
ルト申サネバナラナイノデゴザイマス、日
華事變前ニ於キマシテハ、化學肥料ガ
非常ニ發達シ、供給力ヲ持チマシタガ
爲ニ、此ノ堆肥肥ト云フモノガ兎角粗
略ニ扱ハレマシテ、農村ニ緊要致シテ
居リマスル所ノ牛馬ノ數ガ著シク減少
シタノデアリマス、其ノ時ニ於テ、化
學肥料ガ十分ニ利用セラレマシタガ、
是ガ三年、四年トナリマスルト、土壤
ガ非常ニ瘦セマシテ、如何ニ化學
肥料ヲ多量ニ施シマシテモ、決シテ收
獲ヲ確保スルコトガ出来ナクナツタ
デアリマス、不幸中ノ幸ト申スベク、
此ノ日華事變、戰爭ニナリマシテ、化
學肥料ガ供給不足ニナリマスルヤ、再
ビ堆肥肥ハ盛リ直シテ參ツテ居リマシ
テ、幸ニ化學肥料ニ乏シキ今日此ノ食
糧生産力ヲ保持シテ居リマスルコト
ハ、化學肥料ヲ補フ所デハナイ、其ノ
土壤ヲ肥ヤシテ、尙其ノ年ノ肥料分ヲ
提供シテト外ニ、更ニ次ノ年、次ノ年
ニト段々ト土壤ヲ肥ヤス、堆肥肥ト云
フモノガ盛返サレマシタコトハ、誠ニ
結構ナコトデアリマシテ、是ガ我々政
府ト致シマシテモ、馬ト云フモノガ、
或ハ大動物ト云フモノガ食糧ノ増産確
保ノ上ニ必要缺クベカラザルモノデゴ

ザイマシテ、之ヲ獎勵シタイト云フ建
前ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ガ提
案者ノ唱道致シマシタ提案ノ第二ノ理
由デゴザイマス、又次ニ、先刻申シマ
シタ通り、何等ノ法ノ根據ナクシテ濫
ニ地方長官ノ一片ノ認可ト云フノ行
ツテ居リマスル亂雜サデハ、取締上カ
ラ申シマシテモ亦大藏省、地方廳等ニ
於ケル課稅カラ申シマシテモ、亦馬事
團體ガ補助助成ヲ失ヒマシタノデ、經
濟力補給ノ上カラ申シマシテモ誠ニ宜
シクナイノデゴザイマスルカラ、茲ニ
法律ヲ作りマシテ、其ノ法律ニ依ツテ
是等ノ缺陷ヲ補ヒ、是正ヲ致シテヤラ
セル方ガ宜カラウ、又モウ一ツハ、競
馬ハ御承知ノ通り、相當ノ浮動資金ヲ
集メ得ルト云フ作用ヲ爲スノデゴザイ
マス、所謂インフレノ防止ノ上ノ一環
トモナルデアラウ、斯ウ云フヤウナ見
方モ提案理由ノ一ツニナツテ居ツタ
デアリマス、ソレデ競馬ノ施行ニ依リ
マシテ得マシタ所ノ利益ヲ、中央團體
ニ納付致シマシテ、中央團體
ノ畜産及社會事業ニ其ノ金ヲ振向ケ
テ、畜産ノ振興、殊ニ馬産ノ改良、振
興、増産ニ資シタイ、斯様ナ建前ガ提
案ノ主ナル理由デゴザイマス

○男爵三須精一君 詳シク御説明ヲ戴キ
マシテ有難ウゴザイマシタ
○男爵三須精一君 私ハチヨツト政府
ニ二、三御尋ネシタイト思フノデアリ
マスガ、政府ハ此ノ法案ニ對シテ贊意
ヲ表サレ、近ク公認競馬法ノ改正案モ
御提案ニナルト云フヤウナ御話デア
リマス、且只今モ詳細ニ目途ガ十分樹
ツタノデアリマス、併シナガラ私ハ此
ノ機會ニ於テ、終戦後平和日本ニ於ケ
ル所ノ馬産振興トシテノ競馬開催ニ依
ツテ其ノ目的達成ヲ十分ニスル必要ガ
アルト思ヒマスルノデ、之ニ付キマシ
テ二、三御所見ヲ承リタイト云フノデゴ
ザイマス、現在第三條ニ掲ゲテアリマ
スヤウニ、競馬場ノ數ト云フモノハ、
全國デ北海道ノ三箇所以内、都府縣各
一箇所以内ト云フヤウニアリマスガ、
現在終戦後ニ於キマシテ、競馬ノ出来
ル頭數ト云フモノモ非常ニ減少シテ居
リマスカラ、且又競馬場ニ充テベキ場
所ト云フモノモ相當色々食糧増産、其
ノ他デ使用シテ居リマスルノデ、急速
ニ之ヲ全部ヤルト云フコトハ思ハレナイ
ノデアリマスガ、大體此ノ中最モ近キ
年次ニ於テ開催セラレルノハ一體ドレ
位開カレルト云フ御豫想デアリマスカ、
其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○委員長(子爵西尾忠方君) チヨツト
皆サンニ御諾リ致シマスガ、段々會議
ノ進行ニ連レテシマシテ、非常ニ専門ノ
御質疑ガアルヤウナ場合モアラウト思
ヒマシテ、サウ云フヤウナ場合ニ於テ
ハ、政府ノ方ノ専門ノ方モ見エテ居
レマスカラ、説明員トシテ御説明ヲ願
フヤウニシタラドウカト思ヒマス
○政府委員(大石倫治君) 只今ノ御質
問ニ御答ヘ致シマス、只今ノ御尋ノ開
催所ノ移動ハ、御質問ノ通り當テハ
地方競馬開催ヲ致サナイ地方ガナカ
タノデアリマスルケレドモ、事變、戰爭中
ニ於キマシテ、漸次ソレガ減リマシ
タノハ、全都府縣ニハ瓦ツテ居ラナカ
モノノハ、全都府縣ニハ瓦ツテ居ラナカ
マシテモ休ンデ居ツタノガゴザイマシ
タ、此ノ法律ガ成立ツテ實施セラレ
ト云フ場合ニ、先ヅ以テ開催セラレ
ト云フ場所ハ、此ノ法律ニ決メマスル
數ノ半分以上ニハ達スルデアラウト存
ズルノデアリマス、一昨日モ申上ゲマ
シタガ、大體從來ノ成績ニ鑑ミマスル
ト、馬ノ生産地方ハ兎角地方競馬ガ振
ハナイノデアリマシテ、今農村、山漁
村ノ經濟「インフレ」デ相當浮動資金ガ
アリマスルカラ、假令生産地方デアリ
マシテモ開催致シマシタナラバ、相當
ノ利益ヲ見ルデアラウト存ジマスル
ケレドモ、ソレニ致シマシテモ到底關
東、關西ト云フヤウナ方面ニハ及バ
ナイト存ジマシテ、是等ノ地方ニ於テ
ハ、現在開催シ得ル競馬場ヲ持ツテ居
ルモノハ別ト致シマシテ、持ツテ居
セヌ地方ハ直チニ開催ガ可能デナカラ
ウト思フ、御承知ノ通り耕地ノ關係、
食糧増産ノ關係上、當テアリシ馬場モ
潰レテシマツタノデアリマス、併シ競
馬場ハ公認競馬ト違ヒマシテ、地方競
馬ハ、出場馬モ特ニ専門ノ訓練シタ
馬ト云フヤウナモノデゴザイマセヌ
ノデ、地方ニ散在シテ居ル其ノ儘ノ農耕
馬、或ハ純馬ヲ二、三箇月間ノ訓練ヲ
致シマシタ程度ニ於テ、之ヲ出場サセ
ルト云フヤウナ状態デアリマスルカ
ラ、馬ノ數ニ於キマシテハドウヤラ間
ニ合ツテ參ル存ジマス、又競馬場ノ
設備ニ於キマシテモ、サウ廣イ多クノ
面積ヲ要シマセヌ、唯、廻リ馬場道ガ幾
分カアレバ、馬場ノ埒外ハ耕地トシテ
使ヒ得ルノデゴザイマスルカラ、是等
ノ設備ハ追々完成スルコトガ出来ルデ
ハナイカト思ヒマス
○男爵三須精一君 尙一ツ伺ヒタイノ
デスガ、現在騎手ト云フモノノ資格ヲ
決メルニハドウ云フ方法デアリマシ
テアリマセウカ
○説明員(井上綱雄君) 地方競馬ニ付
キマシテハ、騎手ノ資格ハ現在ノ處、
何等據リ所ガゴザイマセヌ、從來共

ニ、前ノ省令ニ依ル地方競馬規則ノ時
モゴザイマセシ、軍馬資源保護法ニ
依ル競馬ニ於テモ、騎手ノ資格ト
云フモノハ明瞭ニ決メテ居ラナカ
デゴザイマス、唯如何ハシイ勝負
シタヤウナ者ニ付キマシテハ、主
ニ於テ適當ニ之ヲ省クト云ツタヤ
ナ、便宜ノ方法ヲヤツテ居リマシ
ノデアリマス、此ノ點ハ公認競馬ノ
謂競馬法ニ依ル競馬ノ場合ト大分
テ居ル點デゴザイマス

○男爵三須精一君 尙此ノ機會ニ御尋
ネシタイノデアリマスガ、最近ニ於
ル此ノ一般競馬ニ依ツテノ收入ト云
モノハ一箇年下レ位ニナツテ居リマ
カ、且其ノ中馬ノ改良並ニ増殖方面
支出シタ金額ガ、大體御分リデシ
御伺ヒ致シマス

○政府委員(大石倫治君) 御尋ノ競馬
ノ收入ト仰セラレレハ、公認競馬ニ依
ルノデゴザイマセウカ、或ハ鍛鍊競走
ニ依ル競馬デゴザイマスカ
○男爵三須精一君 全部デアリマス、
詰リ馬ノ改良保護ニ依ツテ入ツテ來
金ハ、大體下レ位アラウト云フコト
デゴザイマス

○政府委員(大石倫治君) 數字ヲ申上
ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、何
故カト申セバ、終戦前ト申シテモ、昨
年モ、一昨年モ殆ド競馬ノ大部分ハ休
デ居リマス、殊ニ公認競馬ハ昨年來全
然開イテ居リマセシ、一昨年ノ經濟界
ト本年ノ經濟界トハ御承知ノ通り非
ナ激變ヲ致シテ居リマスルノデ、從
テ競馬ニ於テ取得致シマシタ 取得金
ト、新シキ競馬法ニ依ツテ行ヒマス
ルト考ヘテ居リマス、何故カト申セ
バ、近來神奈川縣デアルトカ、或ハ靜

岡縣デアルトカ、北海道デアルトカ、
各地ニ所謂、是ハ濠リ競馬ト申シテハ
語弊ガゴザイマスガ、地方長官ノ認
ニ依ルダケノ競馬ヲ行ツタモノヲ仄
ニ聞キマスルト、先月神奈川縣ノ戸塚
デ行ヒマシタノハ、三日間デ一千萬
以上ノ馬券ノ賣上ゲガアツタト云フ
トノ開イテ居リマス、六日間ノ開催
於テ二千九百二十五萬五千五百
三十圓ノ賣上ゲガアツタヤウデ
ゴザイマス、又少クテ岐阜縣ノ笠松
五十七萬二千圓ト云フヤウナ状態
リマス、嘗テ開カレテ居リマシタ競
馬ニ對シテハ、殆ド比較ニナラヌヤ
ナ狀況デアリマス、尙公認競馬ニ於
マシテハ、競馬ノ收入ノ四分ノ三迄
馬事ニ使ヒ、其餘ハ社會事業ニ使
テ居リマシテ、相當ノ金額ニ上ツテ
リマス

○小山松吉君 此ノ地方競馬法案ヲ拜
見シマスルト、法律ヲ以テ地方競馬
ト云フ獨立シタモノヲ制定スルコト
ナツテ居ルノデアリマスガ、從來ノ
馬規則ハ内務省、農林省ノ省令デア
リマス、今度ト云フヤウナ譯デ地方
馬法トナツタノデアリマセウカ、此
現行ノ競馬法等ノ關係ハ法的ニ見
トドウ云フコトニナリマスカ、

○政府委員(大石倫治君) 先刻私カラ
御説明申上ゲマシタ中ニ地方競馬ノ
係ヲ申上ゲテ置キマシタ、農林省、
務省ノ省令ニ依ツテヤリマシタ地
競馬ハ其ノ後法律ニ變ツタノデゴ
マシテ、此ノ地方競馬規則ガ廢サ
シテ、軍馬資源保護法ト申シテ失
行法ニ依ツテ競馬ヲ行ハレテ居
タガ、終戦後ソレガ廢止ニナリ
デアリマス、又農林、内務兩省令ノ

地方競馬規則ニ依ツテ行ハレマス
合ニハ非常ナ不便ト不利ガ伴ツテ居
マシタノデ、之ヲ單行法化シテ行カ
バナラス、サウシテ戴キタイト云
トガ民間關係者ノ殆ド總意デア
デアリマス、今日ハ軍馬資源保護
廢止セラレマシテ、規則モ法律
イマセヌ場合デアリマスルカラ、願
レバ單行法ガ一番宜イ、宜カラウ
ウ云フ建前カラ出テ居リマス

○小山松吉君 御説明デ能ク分
タガ、モウ一ツ御尋ネ致シマスガ、
地方競馬法案ニ依リマスルト、競
ノ施行者ガ競馬ヲ開催シヨウト
ハ地方長官ニ届出ヲスレバ宜イ
ネ、從來ハ認可ヲ受ケナケレバ
イノデ、地方長官ハ條件ヲ定メ
ニ依ツテ認可ヲシテ居ツタヤウ
マスガ、是ハドウ云フ譯デ届出
ダケデ宜イコトニナリマシタカ

○政府委員(大石倫治君) 提案者ノ考
ヘ方ヲ申上ゲテ見マス、今新シク
定セラレマス或ハ改正セラレム
テ居リマスル色々ナル團體ノ組織
ハ運營其ノ他ニ付キマシテモ大
化セラレタル傾向ヲ持ツテ居
テ、所謂民主主義トデモ申シマ
カ、傾向デゴザイマシテ、許可
ト云フ官衙ノ制限ヲ漸次取
シテ行ク傾向ガゴザイマス、
ヤウナ建前カラ認可ヲシナク
程度ニ於テ取締上カラ申シマ
差支ナカラウスウ云フ政府ノ
シテ居リマス、詰リ此ノ開催
リマスモノハ、現在ニ於キマシ
ノ都道府縣ノ馬匹組合聯合會、
ハ一府縣ノ區域ト致シテ居
組合デゴザイマス、其ノ他ハ
唯一ツアリマス中央馬事會、
勝タセテ澤山馬券ヲ買ツテ居

○政府委員(大石倫治君) 是ハ開催
者、或ハ執務委員、或ハ其ノ他ノ
不正ヲ競走ヲ行フ、俗ニ言フ八百
ヤル、例ヘバ馬主ト結託シテサ
騎手連方所謂何々ノ申合ヲシ
勝タセテ澤山馬券ヲ買ツテ居

開催ノ主體ニナリマスノデ、是等ノ
體ハ常置ノ團體トシテ常ニ信用ヲ
チ得ル團體デアアル、斯ウ云フ建
ラ届出デ宜シカラウカト考ヘテ
マス

○小山松吉君 從來ノ競馬法ナリ其
他競馬規則ニ依リマス、學生生徒
青年者ニ對シテハ勝馬投票券ノ發
禁ジテアツタノデアリマス、此ノ
デハサウ云フ制限ガ無イヤウ
スガ、是モ何カ事情ガゴザイマ
御尋ネ致シマス

○政府委員(大石倫治君) 是モ只今申
上ゲマシタト同様ニ、時勢ノ變化
フモノト御了承願ヒタイノデア
ス、言論、集會、結社ガ自由ニ
テ、政談演說ノ如キモノモ、結
キモノモ殆ドソレ等ノ制限ヲ撤
レテ居リマス、ト云フ時局デア
ラ、矢張り斯ウ云フヤウナ場合
マシテモ、ソレ等ノ從來ノ見
ネバナラスト云フ建前デア
ニナツタト存ズルノデアリマス、
モ亦ソレヲ認メテ居ル次第デア
○小山松吉君 尙一ツ御尋ネ致シ
ス、此ノ地方競馬法案ノ中則ガ
規定シテアリマス、公務員ニ關
ウナ罰則ガ規定シテアリマス、
カ特別ノ必要ガアツテ……賄賂
ツテイケナイト云フヤウナコ
ノコトガ禁止サレテアルノデア
ス、此ノ事情ヲ御伺ヒスルコト
レバ結構デアリマス

○政府委員(大石倫治君) 是ハ開催
者、或ハ執務委員、或ハ其ノ他ノ
不正ヲ競走ヲ行フ、俗ニ言フ八百
ヤル、例ヘバ馬主ト結託シテサ
騎手連方所謂何々ノ申合ヲシ
勝タセテ澤山馬券ヲ買ツテ居

○有馬忠三郎君 ソレカラモウ一ツ學
生、生徒、未成年者ノコトハモウ御尋
ニナツタカラモウ宜イノデア
ガ、私ハ未成年者ナドハ除イ
イノデヤナイカト思フノデア
是ハマア議論デスガ……ソレカラ

ウ一ツハ言葉デアリマス、此ノ法案ノ言葉デアリマス、「競馬の施行者」、ソレカラ「競馬の開催」、「競馬を行ふ」ト云フヤウナ言葉ガアリマスガ、之ヲ讀ンデ見テ分ツタヤウデ分ラヌ所ガアルノデスガ、「施行」開催「競馬を行ふ」ト云フヤウナコトデ何カ特別ノ意味ガアルノデセウカ、唯文章ノ勢ヒデサウ云フ風ニ致シタノデアリマスカ

○政府委員(大石倫治君)此ノ第二條ノ競馬施行者、同様第八條ニ於テモアリマス、其ノ「施行者」ノ御尋デゴザイマセウカ

○有馬忠三郎君 第二條ニハ「施行者」ガ、この法律により、競馬を開催しようとするときは、第三條ニハ「この法律により、競馬を行ふ」、ソレカラ第五條、第六條、第七條、第八條、第九條、其ノ他澤山アルデスネ、「競馬を開催する」ト云フコト、「競馬を行ふ」ト……

○政府委員(大石倫治君) 第二條ノ「施行者」ト申スノハ、只今申シマシタ開催責任者ヲ指スノデアリマス、ソレカラ「競馬を開催しようとするときは」ト申スノハ、競馬八年四回、一回何日間ト云フ工合ニナツテ居リマスカラ、其ノ施行者ハ常在スルノデアリマスルケレドモ、競馬ハ或時期、或時期ニ行ヒマス、其ノ開催ヲ致スト云フ意味デアリマシテ、第二條ノ「競馬を開催しようとするときは」ト申スノモ、其ノ開催ヲ現在ニ競馬ヲ行ハムトスル其ノ時ヲ言フノデアリマス、又第三條ニ於キマスル「競馬を行ふ」競馬場の数は「ト申シマスモノハ、是ハ競馬場ハ常置ナリマス、デ年中使ツテモ、使ハナクテモ、競馬場ハアリマスルカラ、其ノ「競馬を行ふ」ト云フ風ニ分ケタニ過ギナイノデアリマス

○有馬忠三郎君 宜シウゴザイマス ○渡部信君 此ノ形式ノコトデアリマスルガ、競馬法ト云フモノニ對シテ、又地方競馬法ト云フモノヲ御制定ニナル案デスネ、此ノ通り競馬法ト此ノ法案ハ、比較シテ見マスト、似寄ツタ規定ガ非常ニ多イデアリマスガ、私ハ法律ノコトハ素人デアリマスガ、斯ウ云フノハ、ソノ法律ニシテ、寧ろ競馬法ニアル事柄ハ、先程ドナタカノ御尋ニモアリマシテ、届出デトアルヤウニ届出デニ直シタ方ガ宜シイ、又學生生徒未成年者……未成年者ハ問題デアリマスケレドモ、サウ云フモノモ競馬法ニアル方ガ寧ろ實際ニ適シテ居ラヌノデ改メタ方ガ宜イト云フヤウナ御説明モアリマシタ、尙競馬法ハ入場料ノ金額ナドハ主務大臣ノ認可ヲ受ケルト書イテアリマスガ、茲ニハサウ云フヤウナコトモアリマセスガ、之モ同様認可事項ヲ成ルベク減ラスト云フ意味カラ、此ノ法律ノ方ガ宜イト云フ御趣旨カモ知レマセスガ、其ノ外先程御尋ニナツタ賄賂ノ點デモ罰則ナドガ大體現在ノ競馬法ト非常ニ似テ居リマス、サウ云フモノハ形式ノ問題デアリマスルガ、ソノ法律ニシテ其ノ中ノ第二條ナラ第二條ガ地方競馬ト云フコトニスレバ、大體總則的ナコト、罰則ナドハ共通シテ……寧ろ違ツテ居ル方ガ、此ノ方ガ進歩的ダト云フヤウナ御考ナラバ、サウ云フ風ニシテ此ノ法律ノ形式ヲ……ニスルト云フヤウナ御考ハナカッタノデアリマセウカ、其ノ點ヲテヨツト伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大石倫治君) 現行競馬法ト地方競馬法ト……元シタ一ツノ法律ニ致シマスルコトモ一ツノ便法ト考ヘラ

レルノデアリマスルケレドモ、地方競馬ト、競馬法ニアリマスル公認競馬トハ、自ラ其ノ目的モ違ヒマスルシ、又開催主體ガ一方ハ全國唯一ツノ日本競馬會ガ行フノデ、斯ク全國的ノ競馬ヲ施行シ得ルノデアリマスルガ、地方競馬ハ都道府縣各一箇所以内、北海道ハ三箇所ト云フヤウナ工合ニ、多數ノ開催施行者ヲ持タネバナラヌノデアリマスカラ、團體團體ノ關係モ色々違ツテ居リマスルシ、之ヲ公認競馬ト一緒ニ致シマスルコトガ、チヨツト法律ノ上カラ少々面倒デハナカラウカ、複雑スルノデハナカラウカト思ツテ居リマス、併シサウ云フ關係バカリデナク、今回ノ場合ニ於キマシテハ、公認競馬ハ政府ト致シマシテハ、他日時勢ノ變化ニ伴ヒマシテ改正ヲ要スルト考ヘテ居リマスルケレドモ、未ダ全體的ノ改正ヲ行フト云フ準備ハ出来マセヌノデアリマシテ、暫ク現行法ニ依ツテ行キタイ、唯地方競馬法ガ成立致シテ施行セラル、場合ニナリマスレバ、此ノ著シク違ヒマスル點ハ、馬券ノ枚數制限ニ關スル點、或ハ配當ノ範圍ニ關スル點等デアリマスルカラ、或ハ罰則ノ金額ノ點ト云フヤウナ、著シキ應急的ノ違ツテ居ル點ヲ歩調ヲ合セル爲ニ改正ヲ致サネバナラヌト云フ考ヲ以テ其ノ準備ヲ進メテ居ルノデアリマス、他日仰セノ如ク競馬法ト地方競馬法トノ一體トシテ行キマスルヤウナ場合ニハ、矢張りサウ云フ風ニ調査研究ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○渡部信君 只今ノ御話デ分リマシタガ、競馬法ニ依ル競馬ト地方競馬法ニ依ル競馬トハ目的ガ違フト仰シヤツタノデスガ、ドウ云フ點ガ違フノデスカ

○政府委員(大石倫治君) 總括的ノ意味カラ申シマスルト、所謂馬事ノ振興、馬産ノ改良ト云フ點ニ付キマシテハ、大體目的ハ同ジデゴザイマスルガ、其ノ實質ニ於キマシテハ、地方競馬ハ専ラ地方ニ散在スル所ノ不斷農村ニ於テ使役ヲシテ居ル、或ハ馬車ヲ掛ケテ毎日使ツテ居ルト云フヤウナ馬ヲ或程度ノ訓練馴致ヲ致シマシテ、其ノ地方ノ競馬ニ出走ヲサセル、全國ニ之ヲ走ラセルト云フ意味ハナイノデアリマス、其ノ縣内、若シクハ場合ニ依リマシテハ隣縣等ニ行ク場合モゴザイマセウケレドモ、全面的ニ之ヲ何處ノ競馬場ニ出走ヲシテモ宜イト云フコトハ認メナイノデアリマシテ、細則ニ於テソレハ決メタルデアリマス、公認競馬ハ全國ノ競馬場何處ノ競馬場モ同一ノ馬ガ出走ノ出來ルト云フ建前ヲ探ツテ居リマス、モウ一ツハ地方競馬ハ先刻モ申上ゲマシタ通り、産業用馬ヲ主トシテ訓練ヲシ、其ノ能力ヲ檢定スル、又馬格等ヲ定メルト云フヤウナ目的ト、ソレト共ニ馬事思想ノ普及及發達施行等ヲ盛ニ致シマシテ、馬産ノ意欲ヲ昂揚シ、馬ノ育成飼養ヲ奨励シテ行クト云フ建前ヲ探ツテ居リマスガ、公認競馬ハ大體原種ヲ作ルト云フ建前ヲ探ツテ行クト云フコトガ適當ト思ツテ居リマス、詰リ馬ノ改良ニ必要ナル所ノ種牡馬ノ造成、或ハ種牡馬ノ造成ト云フヤウナ建前ニ於テ公認競馬ハ行ウテ行クベキモノデアリマシテ、競馬専門ノ馬ヲ訓練育成シテ行クト云フ點デアリマス、從ツテ現在日本ニ於キマシテ農耕馬トシテ適當ト認メラレテ居リマスルノハ、大體中間種系ノモノ、及ヒ乾曳馬ト致シマシテハ重種馬、所謂「ベルシュロン」ノヤウナ大キイタイ馬

ト云フヤウナモノノ血種ヲ以テ作ツテ居ル、公認競馬ノ方ニ於キマシテハ「サラブレッド」、「アラブ」ト云フヤウナ血種ノモノヲ以テ作ツテ居ル、輕種デゴザイマスカラ、所謂公認競馬ニ走ルノハ輕種、片一方ハ中間種、重種デゴザイマスト云フヤウナ、大體内容ハ異ツテ居リマシテ、從ツテ其ノ使命ニ向ツテ開催ヲサシテ行カナケレバナラス、斯ウ云フ考ヘ方デゴザイマス

○渡部信君 サウ致シマス、此ノ地方競馬ノ方ハ主トシテ「(ビー)・ホー」ト云ヒマスカ、「ライイト」デナイ方ノ馬ノ育成獎勵、ソレヲ主トシテ爲サル、斯ウ云フ御考デアリマスカ

○政府委員(大石倫治君) 左様デゴザイマス、公認競馬ハ主トシテ所謂速力ヲ以テソレニ堪ヘル所ノ體力、或ハ體形、或ハ體高ト云フヤウナモノヲ作ルノデアリマシテ、所謂サラブレッド、或ハ「アングロ・アラブ」、「アラブ」ト云フヤウナ、輕イ血種ヲ持ツタ農耕馬ハ速力ヲ主ト致シマセヌノデ、實際農耕馬ニ使ヘル、日本人ノ背ノ高サ、荷ヲ積ム、或ハ耕スコト等ニ應ジマシテ、樂ニ行ケルト云フヤウニ……從來軍馬ハ日本人ニハ農耕馬トシテ不適當ナ體高ヲ持タセラレタノデアリマス、五尺何寸トカ、何「メートル」トカ云フヤウナ工合デ、日本人ニハ不適當ナ馬ガ現在日本ノ大部分ヲ占メテ居ルノデアリマス、斯ウ云フモノヲ改良致シテ居リマス、サウ云フ意味ニ於キマシテウナモノヲ競馬ニ於テモ亦能ク見テ行カウ、斯ウ云フ意味デゴザイマス

○侯爵四條隆德君 チヨツト今ノ御答辯ノ中ニアリマシタコトデ伺ヒタイノデスガ、公認競馬ノ「サラブレッド」ノ

○政府委員(大石倫治君) 左様デゴザイマス、公認競馬ハ主トシテ所謂速力ヲ以テソレニ堪ヘル所ノ體力、或ハ體形、或ハ體高ト云フヤウナモノヲ作ルノデアリマシテ、所謂サラブレッド、或ハ「アングロ・アラブ」、「アラブ」ト云フヤウナ、輕イ血種ヲ持ツタ農耕馬ハ速力ヲ主ト致シマセヌノデ、實際農耕馬ニ使ヘル、日本人ノ背ノ高サ、荷ヲ積ム、或ハ耕スコト等ニ應ジマシテ、樂ニ行ケルト云フヤウニ……從來軍馬ハ日本人ニハ農耕馬トシテ不適當ナ體高ヲ持タセラレタノデアリマス、五尺何寸トカ、何「メートル」トカ云フヤウナ工合デ、日本人ニハ不適當ナ馬ガ現在日本ノ大部分ヲ占メテ居ルノデアリマス、斯ウ云フモノヲ改良致シテ居リマス、サウ云フ意味ニ於キマシテウナモノヲ競馬ニ於テモ亦能ク見テ行カウ、斯ウ云フ意味デゴザイマス

原種ヲ獎勵スル、地方競馬ハ全クソ
レト目的ガ違フテ、中間種ヲ獎勵ス
ル、斯ウ云フヤウナ御話デシタガ、實
際ニ競馬ヲヤルトスレバ、公認競馬ニ
成績ノ好イヤウナ種類ノモノハ、地方
競馬デモ矢張り勝ツト云フコトハ、是
ハ分リ切ツタコトデ、同様ナ競馬ヲヤ
レバ、公認競馬ニ近イモノ程有利デア
ルト云フコトニナリマスノデ、地方競
馬出場馬ハ、餘程競馬執行ノ方法ヲ變
ヘナイト、公認競馬ノ種ノ一段下ツタモ
ノガ一般ニ歡迎サレル、斯ウ云フコト
ニナル譯デアリマス、ソコデ如何ナル
方法ヲ以テ此ノ地方競馬ノ馬ノ種ヲ
成ルベク公認競馬ノ「サラブレッド」ニ
アラザル中間種ガ有利デアリヤウナ方
法ヲ執行サレルカト云フコトニ付テ何
ヒタイノデスガ

○政府委員(大石倫治君) 御話御尤モ
デスガ、此ノ地方競馬ノ開催スルニ當
リマシテハ、更ニ施行規則モ出マスル
シ、更ニ又競馬開催ノ色々ナル規則、
規約等モ作ラレルノデアリマシテ、ソ
レニ依ツテ出場馬ノ所謂血種トカ、或
ハ訓練、馴致ハ姑ク措キマシテ、公認
競馬ニ走ツタ馬デアルトカ、或ハ商賣
的ニ競馬ヲ賭ケテヤル馬デアルトカト
云フヤウナモノハ自ラ制限ヲ加ヘルコ
トニナリマスルシ、又サウ云フ馬ノ能
力如何ヲ、大體出走前ニ檢定致シマシ
テ、所課ハンデキヤップヲ付ケルノ
デアリマス、負擔重量ニ於テトカ、或
ハ速歩ノ場合ニ於テハ「メートル」ノ差
ニ於テトカ、色々ノ方法ニ依リマシテ
出場馬ノ能力ノ均衡ヲ圖ルト云フヤウ
ナコトハ、是ハ開催執務委員、其ノ他
デ調節ヲ執ツテ參リマス、又公認競馬
ニ走ル馬デアリマスレバ、全國一年中
走ルコトガ出來マスカラ、サウ云フ馬

ヲ特ニ飼育訓練ヲサセテ多額ノ經費ヲ
カケテ居ツテモ宜イノデアリマスケレ
ドモ、地方競馬ニ對シテハ其ノヤウナ
専門ノ所謂育成スル調教師トカ、騎
手トカ、馬トカ云フモノヲ農村ノ人々
ガ之ヲ持ツト云フコトハ、到底經濟的
ニ非常ニ不利益デアリマスルシ、自ラ
公認競馬ト地方競馬ト云フモノハ、サ
ウ云フ區別ガ生ズルデアラウト考ヘテ
居リマス

○侯爵四條隆徳君 是ハ只今ノ御話ハ
從來ハ公認競馬ニ出テ居ツタモノガ一
且地方競馬ニ出ガツテ出ルト、再ビ公
認競馬ニ出ラレナイト云フヤウナコト
ガアルヤウニ聞イテ居リマス、實際問
題カラ言フト、今御述ニナツタヤウナ
地元ノ競馬ニ出ルヨリモ公認競馬ノ何
流カ下ガツタ馬ガ出ル方ガ有利デア
ルトハ事實デアアル、餘程個々ノ出場馬
コトハ事實デアアル、餘程個々ノ出場馬
ト云フモノノ種類ヲ限定スル、例ヘバ
「サラブレッド」ガ入ツタモノハ出テイ
カストカ、特別ナコトガナイ限リハ、
出場馬ハ公認競馬ニ近イ程有利デア
ルトハ決ツテ居ル、此ノ競馬目當ノ地
方デハ輕馬ヲ飼ヌダラウト云フコトガ
考ヘラレル譯デアリマス、是ハ法案以
外ニ實行スル細目ニ付テ十分御考慮ヲ
願ハナケレバナラヌト思ヒマス、ソレ
ニ付キマシテ只今御話ノ事ヲ挽ク競
馬、速歩競走ト云フモノハ、是ハ從來
ハ除リ馬産方針ニ宜クナイト云フノ
デ、日本ノ速歩馬ト云フモノハ禁止サ
レテ居ツタノデアリマスルガ、地方競
馬ニ於テモ、公認競馬ニ於テモ速歩競
走ト云フコトハ今後ヤル御考ヘデセウ
カ、之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(大石倫治君) 公認競馬ニ
於キマシテハ別デゴザイマシテ、公認
競馬ハ主トシテ輕種ヲ主トスル、速歩
競馬ハ大體中間種ノ血統ヲ持ツテ居ツ
タモノガ入ツテ居ツタノデアリマス、
實ハ競走ニ色々ノ不正ガ行ハレルト
云フヤウナ關係カラ今日止メテ
居ルノデアリマス、地方競馬ニ於キマ
シテハ、速歩、或ハ繫駕ト云フヤウナ
モノハ、繫駕ハ容易ニ行ハレルモノ
デアリマセヌケレドモ、大體ニ於テ行
ハシメテモ宜シイト云フ考ヲ持ツテ居
リマス

○侯爵四條隆徳君 只今公認競馬デ速
歩ハ餘リ歡迎シナイト云フヤウナ御話
デアリマシタガ、實際速歩馬ト云フモ
ノハ或ハ一時ハ軍ノ要求ニ適ハヌト云
フノデ廢メラレタカモ知ラヌデスガ、
今後ノ日本トシテハ此ノ速歩馬ト云フ
モノハサウ重イ馬デナイ、實際問題ニ
中間種ノ種ヲ今迄ハ「フランシス」其ノ
他ノ「ヨーロッパ」カラ多量ニ輸入シ
テ屬ツタモノガ今後ドウナルカ分ラ
ヌ、尤モ手近イ所ノ「アメリカ」デ速
歩馬ハ非常ニ發達シテ居ル、私ガ戰前
ニ歸國スル所ノ「アメリカ」ノ馬ニ詳
シイ米人カラ聞イタ所ニ依リマシテ
モ、強ク戰爭中ニ軍カラ排斥サレタヤ
ウナ如何ハシイモノデモナク「アメリ
カ」ノ軍隊ノ速歩馬ト云フモノハ非常
ニ立派ナモノガアル、斯様ナモノヲ日
本ガ今後寧ろ民間トシテ要望スルノデ
ハナイカト考ヘラレルノデアアル、ソコ
デ公認競馬ニ於テモ斯ウ云フ使役馬ノ
競走ト云フモノハ必要デナイカト思フ
ノデスガ、追ツテ公認競馬法ノ御改正
モアルト云フヤウナ御話デスカラ、其
ノ時ニハ斯ウ云フ點モ一ツ御説明願ヒ
タイト考ヘルノデアリマス、今スグ是
ハ色々伺ヘレバ大變結構デスカレド
モ、是ハ公認競馬ノ話デスカラ、公認
競馬ノ法案ガ提出サレタト云フヤウナ

場合ニ一ツ詳シク伺ヒタイト斯ウ思フ
ノデアリマス、只今ソレニ依ツテモウ
一ツ伺ヒタイコトガアルノデスガ、是
ハ馬ノ改良トカ、或ハ馬ノ増殖ト云フ
一本槍デアツタ競馬ガ、一昨日モ御話
ノヤウニ運動「スポーツ」ト云フヤウ
ナコトヲ非常ニ今後ハ加味スル、斯ウ
云フ御話デアツタ、是非非常ニ結構ナ
コトナノデスガ「スポーツ」ト云フモノ
云フモノハ凡ソ私ハ違フモノダラウト
思フ、實際「スポーツ」ト云フモノハ
競馬ナラバ乗ル人ガ「スポーツ」デ、
觀テ居ル御客サンハ實際ハ娛樂デアリ
マス、斯ウ云フ點ハ相當外國デハハツ
キリ取扱ハレテ居ルト思フ、處デ昨日
御話ノ地方競馬デハ騎手ハ誰ガ乗ツテ
モ宜イト云フ無資格、公認競馬ハ是ハ
職業騎手デ、サウスルト實際ハ地方競
馬ガ非常ニ「スポーツ」ト云フ意味ガ
餘計ニナル、公認競馬ニ於テハアマア騎
手ノ資格ノナイ者モ乘リ得ル競走デア
レバ、無論「スポーツ」ト云フヤウナ
取扱ヲ受ケテモ差支ナイ、ソレガナイ
限リハ是ハ娛樂ニ外ナラナイ、サウス
ルト實際ハ現在ノ儘デ置ケバ地方競馬
ト云フモノハ、其ノ地方ノ馬ニ其ノ地
方ノ人ガ乗ル「スポーツ」デ非常ニ結
構デアアル、處ガ從來ノ色々競馬ノ狀況
ヲ見マスト、公認競馬ハナカノ「シツ
カリ監督サレテ立派ナモノデアアルガ、
地方競馬ニハ往々如何ハシイコトヲ聞
ク、之ヲ「スポーツ」化スルト云フコ
トハ容易ナコトデハナイト思フ、寧ろ
我々ノ乗ルノハ、今後公認競馬ニ於テ
モ無資格ノ者モ出場出來ルト云フヤウ
ナ、所謂競馬「スポーツ」化ト云フコ
トモ私共ハ必要ダト思フノデスガ、斯
様ナ點如何デセウカ、御意見ヲ伺ヒタ
イノデス

○政府委員(大石倫治君) 誠ニ新シイ
御意見ヲ拜讀致シマシタ、公認競馬モ
「スポーツ」化シタラ宜カラウト云フ
御意見ハ誠ニ宜イ御意見デアラウト存
ジマス、唯公認競馬ハ只今モ申上ゲマ
スル通り殆ド専門家的ノ騎手ヲ要スル
建前ノ開催シ方デアリマス、デアアルカ
ラ從ツテ騎手ト云フモノノ資格ヲ定
メ、試験ヲ致シ、所謂人柄デアアルト
カ、技術デアアルトカ、色々ナモノヲ見
テヤラシテ行キマスル必要ガアルト思
ヒマス、併シ公認競馬モ一日ノ開催回
數十一回或ハ十二回、十三回ト云フヤ
ウナ場合ガゴザイマスルカラ、此ノ回
數ノ中ニハ「スポーツ」的ノ所謂素人
ノ騎手ヲ乘セテモ宜シイノデアリマス
ガ、サウ云フヤウナ種類ヲ設ケテ行キ
マシタナラバ其ノ運営ガ付クコトト存
ズルノデアリマス、地方競馬ニ於キマ
シテモ無資格ト申シマスケレドモ、所
謂取締ヲ致シマセスト其ノ騎手ノ心掛
ガ宜クナイ者、或ハ何カノ傀儡ニ依ツ
テ速歩トニ於キマシテハ獨リ八百長
ヲヤルヤウナ場合ガアルノデアリマシ
テ、他ノ騎手トノ話合モセズニ自分ダ
ケデ八百長ヲヤツテ馬ヲ遅ラシタリ或
ハ進メタリ或ハ能力ヲ隠シタリト云フ
ヤウナコトガアルマス、サウ云フヤウ
ナ場合ヲ正シクスル爲ニ其ノ地方ノ
騎手ハ其ノ地方ノ團體ハ登録ヲ致ス
ト云フヤウナコトニナルノデアリマ
シテ、若シサウ云フ不正ヲ働ク不良
ノ者デアリマスレバ、其ノ開催者カラ
騎手ニ對シテ制裁ヲ加ヘマシテ出場停
止、出場スルコトハ出來ナイト云フヤ
ウナ又制裁法モ考ヘテ置カケレバナ
ラヌノデアリマス、公認競馬ニ於キマ
シテハ、矢張りサウ云フヤウナ點ヲ防
グ爲ニモ、亦非常ニ速力ヲ尊ビマスルモ

ノニ不慣レナ者ガ乘リマシテ怪我過チガアツタ他ニモ累ヲ及スト云フコトガアツテハナリマセヌカラ、成ルベクサウ云フモノハ訓練ヲ經テ、資格ノ試験ニ於テ認メラレタト云フヤウナ者ダケヲ捕ヘテ行ク必要ガアルノデハナカラウカト思フノデゴザイマス、又モウツノ御尋ネノアリマシタ出走馬ノコトハ大體糞ニ申上ゲマシタコト大同小異デアリマス

○侯爵四條隆徳君 モウ一ツハ先程御質問モアリマシタガ、競馬法ヲ公認競馬、地方競馬ト云フノヲ一本ニスル、サウシテ片方ガ「エー・クラス」ナラ片方ガ「ビー・クラス」ニスルト云フコトハ取扱上極メテ便宜カトモ思ヒマスガ、御話ニ依リマスレバ目的ガ違フト云フノデ別途法律上取扱フト云フ話デアリマス、之ヲ執行スルノニ公認競馬ニハ競馬會、地方競馬トシテハ中央馬事會ト云フモノガアル、一ツハ鍛錬機關デアリ、一ツハ獎勵機關デアリ、是ハ別途ノ團體デアルケレドモ、此ノ團體ヲ打ツテ一丸トシテ將來會場ヲ共ニヤルト云フ方便宜カト思ヒマスガ、此ノ點ハ一本ニスルヤウナ御考、ハアリマセウカ

○政府委員(大石倫治君) 今日即時ヤルコトノ出来ナイノハ先刻申上ゲマシタ通りデアリマシテ、將來ニ於キマシテハ此ノ競馬ト云フモノヲ所調調整ヲ致シテ行カネバナラス時ガアルカモ知レマセヌガ、御説ノ如ク能ク調査研究ヲ致シマシテソレ等ニ善處致シタイト考ヘマス

○侯爵四條隆徳君 色々長クナリマスガ、最後ニ馬券ノコトヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、發賣サレル馬券ノ種類ハドウ云フ種類ノ馬券ヲ發賣スルヤウ

ニナリマスカ、單勝式トカ複勝式トカ：
○政府委員(大石倫治君) 矢張り現行競馬法同様ナ馬ノ頭數、出場馬ノ頭數ニ依リ單複兩用ノ馬券ヲ發賣スルコトガ「ファン」ノ爲ニ宜カラウト存ジマス、從來ノ配當制限ハ遙ニ擴張セラレルノデアリマスカラ、擴張セラレタル程度ノ配當ハ、今日迄各地ニ開カレマシタ實績ニ徴シテハナイヤウデアリマスルケレドモ、矢張り出場頭數ガ非常ニ多イト云フ場合ニ於キマシテハ單複二種ニ分ケテ行クコトガ宜イカト存ジマス、其ノ點ハ細則ニ於テ決メテ行ク考デアリマス

○侯爵四條隆徳君 實際此ノ法案ヲ拜見シテモ、馬券ヲ非常ニ餘計賣ルト云フ仕組ニナツテ居リマス、無制限デアリマス、馬券ヲ無制限ニ賣ルト云フコトハ一向差支ナイト云フコトニナレバ、一方世間デ富饒モ賣ラレテ居ルヤウナコトデスカラ、競馬場ノ外デモ賣レル馬券デスカラ、「ガラ」札、サウ云フヤウナモノモ發賣スルト云フヤウナコトヲ許可スルヤウナ御考デスカ、ソレトモ馬券ニハ種類ヲ矢張り場内ダケ、或ハ斯ウ云フ種類ノ馬券トハツリキ規定スル必要ガアリマスノデスカ、此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大石倫治君) ソレハハツキリ場内ニ於ケル窓口ニ於テ賣ルモノニ限リ積リデゴザイマス、場外ニ於ケル「ガラ」、中國ナド行ハレテ居リマス「ガラ」積リテ云フヤウナモノハ此ノ法律ヲ以テシテハ許可ヲ認メナイ積リデアリマス

○瀧川儀作君 私ハ前回申上ゲマシタ通り競馬ノ知識ハ全然持タナイノデアリマスガ、先般來衆議院ニ於ケル質疑

應答ニ依リ、又今回政府委員ノ御説明ニ依リマシテ本案ニハ贊同致シテ居ルモノデアリマスルガ、其ノ主ナル理由ノ一ツト致シマシテハ、競馬ノ畜産ニ依リマシテ得ル堆肥ニ依リ農産物ノ増産ニ對スル大キナ役割ヲ持ツテ居ルコトヲ常識ニ伺ヒマシテ、贊同ノ第一ノ理由ニ致シテ居ルデアリマス、其次、目下豫算委員會ニ於キマシテ大問題ニナツテ居リマス「インフレーション」デアリマス、是ハ労働者階級及ビ農村ニ撒布サレテ居ル退蔵サレテ居ル所ノ新圓ヲ吸收シテ行ク、「インフレーション」ヲ防止スル働キモナスノデアリマス、ソレカラ第三ニハ、今度ノ戰災ニ依ツテ全國ノ百何十ト云フ都市ガ殆ド大破サレマシテ、是ガ復興事業ニ惱ンデ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、ソコデ此ノ第十一條、十二條デアリマスガ、賣得金額ノ百分ノ二十五以内ノ金額ヲ自己ノ收入トスル、其ノ以外ハ購買馬券ニ向ツテ割當テ、行クコトニナツテ居ルデアリマ

スガ、實際ハ二十以内ノ實行ヲ爲サセ

スガ、實際ハ二十以内ノ實行ヲ爲サセ

スガ、實際ハ二十以内ノ實行ヲ爲サセ

スガ、實際ハ二十以内ノ實行ヲ爲サセ

スガ、實際ハ二十以内ノ實行ヲ爲サセ

スガ、實際ハ二十以内ノ實行ヲ爲サセ

スガ、實際ハ二十以内ノ實行ヲ爲サセ

○委員(子爵西尾忠方君) 御話ヲ致シマスガ、委員外カラノ御質問ノ希望ガアリマスカラ、御許シ致シタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

○委員(子爵西尾忠方君) 御話ヲ致シマスガ、委員外カラノ御質問ノ希望ガアリマスカラ、御許シ致シタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

○委員(子爵西尾忠方君) 御話ヲ致シマスガ、委員外カラノ御質問ノ希望ガアリマスカラ、御許シ致シタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

○委員(子爵西尾忠方君) 御話ヲ致シマスガ、委員外カラノ御質問ノ希望ガアリマスカラ、御許シ致シタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

當ナ金額ニ上ツテ來ル、ソレデ地方競馬法ヲ起案スル時ニハ凡ソドレ位ノ賣得金ガアルト云フコトヲ目標トシテ、所謂二十五以內ト云フコトニ根據ヲ置イタモノデゴザイマス、ソレヲ一ツ御伺ヒシタイト思ヒマス、ソレカラ假ニ是ガ此ノ情勢ヲ健全ニ發達シテ、數億乃至數十億ト云フヤウナコトニナルト巨額ナ金額ガ其處へ出テ來ルト思ヒマス、サウスルト今日地方競馬ノ改正、續イテ公認競馬ノ改正ト云フヤウナコトガ此處へ出テ來ルト思ヒマス、其ノ方向ノ一ツノ使命トシテハ「インフレ」ヲ防止スルト云フコトモ考ヘラレテ居ルノデアリマス、處方從來ノ經驗ニ徴シマシテ、競馬ノ開催等ニ付テハ餘程監督宜シキヲ得ヌト云フト、宜イコトモアルケレドモ、亦弊害ガ非常ニ多イ、ソコデ其ノ多額ナ金ノ使ヒ方ニ依リマス、「インフレ」ヲ防止スルコトガ逆ニ「インフレ」ヲ助成スルト云フヤウナコトモ考ヘテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、ソレデ其ノ使途ニ付テハ、農林大臣ノ監督ヲ受ケルコトニナツテ居リマス、今政府委員ノ御説明デ四分ノ三迄ハドウシテモ馬ノ方ニ使ハナケレバナラヌト云フコトニ大體今迄ノ法律ノ慣例デナツテ居リマス、ソコデ今日斯ウ云フ地方競馬法ヲ改正シテ、盛ニ之ヲヤラナケレバイカヌト云フ盛リ上ツテ來タ空氣ハ、無論從來軍馬本位來タモノガ終戰ト同時ニソレガナクナツテ、今度ハ地方競馬モ産業ヲ主トシテ産業馬ノ能力發達、與陸主眼トシナケレバイケマセケレドモ、其ノ半面ニハ、國ノ民主的ノ氣分ノ爲ニ、「スポーツ」ト云フコトモ言ヘマセウガ、地方ニ於テモ所謂「スポーツ」精神ト言フカ、體育運

動精神ト言フカ、單ニ産業馬ト云フコトヲ離レテ、サウ云フ空氣ガ盛リ上ツテ來テ、斯ウ云フ情勢ニナツト思フノデス、今政府委員ノ御説明ノ通り、或方面カラ大イニ此ノ際競馬ヲヤツテ、民主的の娛樂ヲ獎勵セヨ、健全ナル體育ノ發達ヲヤレト言ハレタ、ソレガ動機トナツテ北海道ヲ始メトシテ、盛ニ此ノ地方競馬ガ興隆シツ、アルノダト思ヒマス、サウ致シマス、ドウシテモ此ノ産業馬ト別ニ、又乘馬ト云フコトモ、從來軍方獎勵シテ居ツタヨリ以上ニ、民間ノサウ云フ「スポーツ」ト云フカ、或ハソレニ關聯シテ、社會的生活ノ向上ト言ヒマス、地方農民ノ乘馬思想ト云フモノヲ喚起スル非常ニ好イ「チャンス」ヲ思ハレ、ソレデ此ノ法案ノ内容ト言ヒマス、畜産組合其ノ他ノ費用ト云フヤウナコトガ昔イテアリマス、モウ少シ強クサウ云フ乘馬ニ依ツテ馬事思想ノ普及トカ云フヤウナコトニ付テモ、從來軍方ガツテ居ツタソレ以上ニ、今日ノ社會情勢ヲ考慮シテ、サウ云フヤウナ點ニ力ヲ入レテ、其ノ金ヲ十分ニ廻ス、斯ウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマセウカ、ソコデソレ等ノ方ノ金ノ使ヒ方ニ依リマス、或ハ二十、或ハ二十五、或ハ今公認競馬ハ十八半ト思ヒマス、ソレデモ多イトカ少イトカ云フコトガ其ノ金ノ使ヒ方ニ依ツテ、非常ニ多クテモ國家ノ爲ニ有効適切デアルト云フコトガ考ヘラレマス、其ノ使ヒ方ヲ一歩誤ツテ、ソレヲヤリ損フト云フコト、今申上ゲタ通り寧ろ道ニ「インフレ」ヲ助成スルコトニナル、又非常ニ弊害ガ起ルト思ヒマス、政府ハソレ等ニ付テドウ云フヤウナ御考デアリマセウカ、從來ノ賣上金ハ極ク少イ時ノ百分ノ二十

五ト云フコトデ、今日ノ如ク世ノ中ガ變ツテ、殊ニ社會的ニモ容ラレ、非常ニ歡迎サレテ居ル時ニハ、斯ウ云フ賣得金ナシカモ以前ノ何倍、何十倍、殆ド之ヲ豫想シテ何億圓ト云フコトニナルト、從來ノ公認競馬ヨリ以上ノ賣上金ガ出ルト云フコトニナリマス、是非非常ニ大キナ事業ト申シマセウカ、大キナ仕事ナラデス、ソレデ今迄ノヤウナ考ヲ變ヘテ餘程大キク、所謂地方競馬ノ使命ト云フモノヲ重大ニ觀察シテヤラナケレバイケマセウガ、之ニ付テハ相當新タナ構想ヲ以テオヤリニナツタト思ヒマス、モウ少シ具體的ニ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大石倫治君) 只今山地サノ御尋ノ賣得金ニ對スル控除額デアリマス、此ノ金額ノ出マシタノハ地方競馬規則ニ依ル地方競馬當時ニ於キマスル割合、或ハ事變中ニ於ケル鍛鍊競走ノ模様及ビ實際開催ノ關係カラ此ノ金額ガ宜カラウト政府ハ認メテ居ルノデアリマス、提案者ニ於キマシテモ同様に考ヘ方デアルト思ヒマス、御話ノ如ク第二點ニ付キマシテハ、此ノ巨額ニ上ル賣得金ノ増加ニ依ツテ、從ツテ控除額……開催者ノ收入ガ多クナルト云フ御觀察ハ御尤デアリマス、假ニ是ガ全國ヲ通ジテ十億圓トナリマシテモ、大體控除額ハ二億圓デアリマス、其ノ中ノ大部分ハ國稅及ビ開催費、諸費トナリマス、假ニ半分ノ一億圓ガ殘ツタト致シマシレバ、其ノ中ノ金ハ、或ハ開催者ノ施設ノ補充其ノ他ノ積立金等ニモ廻ルノモゴザイマセウガ、馬事畜産ノ進歩、助成ニ廻ルノモゴザイマセウシ、社會的ニ廻ルノモゴザイマセウシ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、大體此ノ馬事ニ仕向ケラレテ居リ

マシタ國費ハ、昭和十七年度ニ於キマシテ四千三百二十八萬圓、十八年ガ四千七百九十萬圓、十九年ガ五千六百八十四萬圓、二十年ハ七千四百四十萬圓ト云フ金デアリマシタガ、是ハ現在ニ於キマシテハ、此ノ半額ニモ達シナイ程度ニ減額セラレテ居リマス、尙ソレ等ノモノガ國ノ施設、國ノ事業等ニ大部分ガ振向ケラレテ居ルノデアリマシテ、是等ノ經費ノ中、減リマシタ部分ハ概ネ地方ノ團體ニ對スル補助、助成金デアリマシテ、斯ウ云フヤウナ金ガ二十年度ニ於キマシテ三千萬圓モ四千萬圓モ減ツタノデアリマス、之ヲ數年前ノ助成ガ假ニ一千萬圓ト致シマシレバ、今日ハ其ノ少クトモ五倍乃至十倍ヲ與ヘナケレバナラナイト云フ貨幣價值ノ關係ガゴザイマスカラ、一億圓ノ金ヲ廻スト致シマシテモ、大シタモノニハナラナイノデハナイカト存ズルノデアリマス、尤モ御話ノ、獨リ是ハ競馬トシテ、「スポーツ」、娛樂ニナルバカリデハナク、一般ノ馬事ノ獎勵ヲ致サナケレバナラナイノデ、從ツテ健全ナル「スポーツ」ト致シマシテ、國內バカリデナシニ、世界的ニモ認メラレテ居ル乘馬ノ如キハ益、獎勵スベキモノデアルト、斯様ニ考ヘテ居リマス、元ハ軍事關係ノ馬術ヲ中心トシタモノモ現レタノデアリマス、今日ハ全ク軍事關係ノナイ所ノ眞ノ健全ナル「スポーツ」トシテ之ヲ獎勵スベキモノト存ジマス、故ニ、斯ウ云フヤウナ金ガ中央ノ團體ニ集リマシテ、融通ノ出來マスル限リハサウ云フ方面ニモ振向ケサセルヤウニ指導致シタイト存ジテ居リマス

○委員外議員(山地土佐太郎君) 今ノ七千萬圓、五千萬圓ト云フアレハ、政府ノ支出金デアリマス、賣得賣上金デアリマス

○政府委員(大石倫治君) 是ハ政府ノ國庫負擔デアリマス、政府ノ支出デアリマス

○委員外議員(山地土佐太郎君) 此ノ競馬法ノ中ニ、中央馬事會モ主務大臣ノ許可ガアレバ競馬ガ開催出來ルヤウナ法文ニナツテ居リマス、サウデスネ

○政府委員(大石倫治君) 左様デス

○委員外議員(山地土佐太郎君) サウ致シマス、是ハ無論中央ニ於ケル經費ノ財源ニモナルト思ヒマス、年ニ何回位開催スル御考デアリマス

○政府委員(大石倫治君) 中央馬事會ガ主催ヲ致シマスル競馬ハ定期的デハゴザイマセウ、臨時ニ行ハシムルモノデアリマシテ、常設ノ競馬場ヲ持ツテ居ラスノデアリマス、ドウ云フ場合ニ中央馬事會ガ開催スルカト申シマスレバ、例ヘバ地域的ニ、關東デアルトカ、東北デアルトカ、或ハ關西、或ハ九州デアルトカト云フヤウナ地方ニ於テ、馬事畜産ニ關スル共進會トカ、或ハ其ノ他地域的ニ全體ノ共通セル經費ヲ要スルト云フヤウナ場合ニ、其ノ經費ノ出所ヲ或一ツノ縣團體ガ主催スルト云フコトハ困難ナ場合デアリマス、ソレ等ノ地域的ノ團體ヲ代表シテ馬事會ガソレヲ開催スル、或ハ日本全國ノ博覽會ヲヤルトカ、或ハ馬事畜産ノ何等カノ催ヤルトカ云フコトデ、非常ニ經費ヲ要スルト云フヤウナ場合ニハ、全國ノ團體ニ代ツテ中央馬事會ガ主催トナツテ開催スルト、サウ云フ場合ノ許可デゴザイマシテ、常設ノモノデアナイト云フコトヲ御承知願ヒタイト思ヒマス

○委員外議員(山地土佐太郎君) ソコ

デ此ノ競馬ガ順調ニ發達シテ行キマス
ト、北海道ニ三箇所、各縣ニ一箇所、
ソレガ從來ト違ツテ非常ナ盛況ニナ
ル、尤モ戸塚トカ、或ハ大阪附近ト云
フヤウナ、殆ド公認競馬ニ匹敵スルヤ
ウナ大キイ所ハ別ト致シマシテモ、金
ガ非常ニ地方ニ散在シテ居リ、又非常
ニ通貨ガ膨脹シテ居リマスカラ、各地
共相當ナ金額ニ上ルト、之ノ監督ハ、
從來モ相當監督ヲシテ居ツタノデスケ
レドモ、今度ハサウ云フ點ニ付テハ餘
程政府ノ監督スベキ仕事ハ膨脹スルデ
アラウト思ヒマスガ、ソレニ付テハド
ウ云フ御考デアリマスカ

○政府委員(大石倫治君) 此ノ法文ニ
ハ明記シテゴザイマセヌガ、賣得金ノ
剩餘金ノ費途ニ付キマシテハ、相當周
到ナル監督ヲ致シタイト存ジマス、此
ノ法文ノ第一條ノ、第十二條ノ馬事團
體ハ、命令の定めるところにより、主
務大臣の許可を受けて、前項の競馬を
行ふことができるト云フ規定ヲ應用
致シマシテ、施行細則ニハ、開催ニ當ッ
テ認可スル場合ニ、ソレノ剩餘金
ノ費途ニ付テノ指示ヲ致スト云フヤウ
ナ建前ヲ濫費ヲ防グト云フヤウナコト
ヲ考ヘテ居リマス、又監督官廳ト致シ
マシテハ、主務大臣ヲ初メ地方長官ハ
其ノ監督ノ任ニ當リマシテ、常ニ一般
的ニ此ノ團體ヲ監督致シテ居リマスル
カラ、一段ト競馬開催ニ當リマシテ
ハ、誤リナク監督ヲサセルヤウニ致シ
タイト存ジマス

○委員外議員(山地主佐太郎君) 從來
公認競馬デハ、畜産局ニ競馬ノ監督課ノ
ヤウナモノガアツテ、相當職ニヤツテ
居リマスガ、地方デハ大抵地方農務課
ト云フヤウナモノガアツテ居ルヤウニ
見受ケマスガ、今度ハ非常ニ今申上ゲ

ル通り多額ナ金高ニ上ルシ、又政府ノ
方デモ十分ニソレヲ監督スルト云フ御
意思ノコトハ分リマシタケレドモ、是
ハ從來ノヤウナ行キ方デナクシテ、專
任ノ人ヲ置イテ各地方デヤラナケレ
バ餘程弊害ガ生ジテ來ヤセヌカト云フ
ヤウナ杞憂ヲ抱クノデスガ、地方廳ア
タリデモサウ云フヤウナ專任ノ官吏、
普通ノ今ノ畜産技師トカ農林技師トカ
云フヤウナ方ノ兼務デナイヤウナ風
ニ、專任ヲ置クト云フヤウナ御意向ハ
ドウデスカ

○政府委員(大石倫治君) 斯様ナ競馬
ハ一面國策的ニ其ノ效果モアリ、必要
ヲ認メラレテ居ルノデアリマスルケレ
ドモ、其ノ半面ニハ、從來ノ成績ニ微シ
テ兎角弊害ガ起リ勝チデアリマス、仍
テ此ノ弊害ヲヨリ少ク致シマシテ效果
ヲ擧ゲル爲ニハ、内務司法兩省ト協力
ヲ致シマシテ、相當ノ取締監督ヲ致シ
テ參リタイト存ジテ居リマス、併シナ
ガラ御承知ノ通り今ヤ總テガ民主化ト
云フ民主主義ノ時代ニ向ヒツ、アルノ
デアリマシテ、日本ノ再建ニハ、此ノ
民主主義ト云フモノヲ徹底セシメネバ
ナラスノデアリマスルカラ、封建的ノ
ヤウナ取締方デアルトカ、強壓的ノ取
締ト云フヤウナコトニ互ラザルヤウナ
程度ニ於テ其ノ弊害防止除却ノ爲ニ善
處スル積リデ居リマス、又監督課ヲ置
ケト云フヤウナオ話デアリマスガ、ソ
レハドウ云フヤウニ致シマシタナラバ
其ノ弊害除却防止ノ目的ヲ達成スルカ
ニ付キマシテハ、今直チニ具體的ノ御
説明ヲ申上ゲル機會ニハ達シテ居リマ
セヌ、御趣旨ノ點ヲ能ク考慮致シマシ
テ適當ニ處理致シタイト存ジマス

○委員長(子爵西尾忠方君) 本日ハ之
ヲ以テ散會致シマス、明日ハ午前十時

カラ開會致スコトニ致シマス
午後零時二十二分散會
出席者左ノ如シ

- 委員長 子爵西尾 忠方君
- 副委員長 男爵三須 精一君
- 委員 侯爵四條 隆徳君
- 伯爵南部 利英君
- 小山 松吉君
- 松村眞一郎君
- 男爵徳川 誠君
- 男爵斯波 正夫君
- 瀧川 儀作君
- 安田伊左衛門君
- 有馬忠三郎君
- 名古屋三吉君
- 渡部 信君
- 政府委員 農林政務次官 大石 倫治君
- 農林事務官 灘波 理平君
- 説明員 農林技官 井上 綱雄君